

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：関東地方整備局道路部地域道路課  
 担当課長名：榎引 繁雄

事業名	町道林長野原線 <small>はやしながのほらせん</small>		事業区分	地方道	事業主体	長野原町 <small>ながのほら</small>
起終点	自：群馬県吾妻郡長野原町大字林 至：群馬県吾妻郡長野原町大字長野原		延長	3.1 km		
事業概要	町道林長野原線は、長野原町の国道145号長野原BPから同町の県道林長野原線に至る路線であり、利根川水系吾妻川のハツ場ダム（S60水特法第9条ダム指定（直轄事業））建設に伴って、水源地域の基幹路線として位置付けられた延長約3.1kmの2車線の新設道路である。					
事業の目的、必要性	本事業は、ハツ場ダム建設後の基幹となるネットワーク路線として整備されるものであり、水源地区住民の生活の利便性を確保し、水源地域の生活環境向上を図ることを目的とする。 本事業の整備により、代替地や既存地区とJR長野原草津口駅及び公共施設とが結ばれ、本ダムに係る水源地域の生活環境、地域振興基盤整備等の支援に大きく寄与するものである。					
全体事業費	1.6億円		計画交通量	3,400台/日		
費用対効果分析結果	B/C	2.3	総費用	1.3億円	総便益	3.1億円
			（事業費：1.3億円 維持管理費：0億円）		（走行時間短縮便益：2.9億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年：平成15年
事業の効果等	・個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である） ・他のプロジェクトとの関係（他機関との連携プログラムに位置付けられている） 他1項目に該当（定量的評価項目含む）					
関係する地方公共団体等の意見	ハツ場ダムの受益者は1都4県（東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県）のダム利水者で構成され、都県知事間で基本協定、覚書（H8.2.22）を締結しており、事業の促進を強く要望している。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。